

# 水トラスト ニュース

Oct. 2001 vol. 6

## contents

- 御嵩町産廃反対運動の今 …… 1
- 水源の森・みたけから …… 2
- 流域からの便り  
木曾谷から …… 3  
大豆畑トラスト …… 3～4
- クマタカもアカショウビンも見たよ！  
小和沢野鳥観察の記録 …… 5～6
- 流域圏および水源地域保全に関する最近の動  
向 …… 7～13
- おすすめの本 …… 14～15
- 森開き 3周年記念イベント案内 …… 16

# 御嵩町産廃反対運動の

# 今

全国の注目を集めた住民投票から早や3年。町内では当時のことが人々の記憶から薄れかけ、「産廃」を口にするに「まだやってるの？好きなんだねえ」と言われる始末。

県外へ出ると、過大評価されたりして、複雑な気持ちになります。

現在、御嵩町議会では、町長支持といわれた11名のうち2名が会派を離脱し、18名の議員中、共産1、公明2名は、推進派と同調する動きをとっているため、大変微妙なバランスとなっております。

小和沢の県道沿いには、いたる所に「社有地に付き立入禁止」の立て札が並び「パトロール中」の旗をなびかせたT工業の軽トラに呼び止められたこともあります。

また同社の顧問であるS氏は1年

程前、町内に転入し、地域行事やボランティア活動審議会委員など積極的に参加し、着々と評判をあげているのです。ある会合で同席した時

「反対運動も近頃お疲れのようですねえ」と、冷笑されてしまいました。

町長襲撃事件から丸4年。最初の

反対請願や町長招聘か

ら10年近

い歳月が流れ、亡くなっ

た人、病に

倒れた人も

あり、弱体

化したこと

は否定でき

ません。

が、運動の

中心にいた人

たちは「産廃」を忘れてはいません。

かつてのエネルギーは、環境問題や

自然保護などの活動に形を変えて続

いています。

私も今、小和沢をはじめ、町内の

自然観察に参加しています。鳥や草

花との新しい出会いや発見は何より

楽しく、それらを育んでいる御嵩町

から離れ難くなります。「お疲れ」

にも「停滞」にも見えるこの時期で

すが、自然を通して、御嵩をふるさ

ととして愛する人の和が広がること

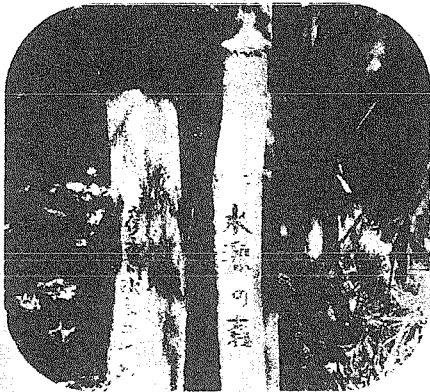
を期待しています。



箆橋まゆみ（御嵩町在住）

# 水源の森・みたけから

木亦信之



半年ぶりに森からの便りを届けます。

夏の間鬱蒼とした森にも秋がやってきました。

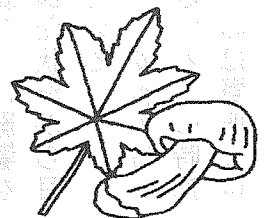
どんな強い風にもどんな激しい雨にも決して散ることなく、少しでも多くの太陽のエネルギーを得ようと高く広く、したたかにその存在を誇示してきた広葉樹は、秋の色へと変わっていきます。そして一葉一葉が役目を終え枝を離れて

森の土へと帰ろうとする頃はもう晩秋です。木の

葉が落ちた森には冷えた空気をやわらげるように、心地よい太陽の光が地面にまで射しこんでくるのです。降り積もった落ち葉はやわらかく私たちがやさしく迎え入れてくれます。森は静かな季節へと移り変わります。里山のどこにもある秋から初冬への光景が水源の森・みたけにもやってきました。

秋は実りの季節です。コナラやアベマキのドングリはリスや野ネズミにとってはごちそうですが、人間にとっては遊びの道具にかわります。やじろべいやこまをつくった子供の頃を思い出させてくれます。ホウの葉でお面をつくったりしましたね。味噌を焼いて食べたりもしましたね。なつかしい記憶がよみがえります。秋の森は宝の山にかわります。森で偶然出くわしたキノコほどうれしいものはありません。キノコは森の妖精です。突然思いがけないところにあられてくるのです。水源の森にもイクチ（アミタケ）やクリタケがでます。今年もまた森の恵みに会えることと思います。

さて、丸太小屋作りは素人集団でなかなか仕事ははかどりませんが、ゆっくり楽しみながらやるのが長続きするうえで大切なことと思ひ月一回の作業を楽しんでいます。間伐や枝打ちの必要性や木の性質を現場で学びながら、一本一本材料をきざんでいくのは大変なことですが、これも木や森とのかかわりの中ではとても重要なことです。少しずつですが参加者の皆さんの心のこもった小屋ができつつあります。秋の水源の森・みたけに遊びに来て下さい。



# 木曾谷から

金澤英明(阿寺溪谷を愛する会)

木曾谷も今年も猛暑が続き、下流の水が心配されましたが十一号台風によりなんとか切り抜けることが出来たと  
思います。揚水発電



電ダムの件については、これからの電力事情により、大きく様変わりす

るものと見られ中部電力の建設計画についても、すべての面で、年間の先送りとなつています。また、長野県知事の「脱ダム」宣言により、この傾向が強まり、電力の自由化、太陽光発電、ガス冷房などの普及により新規発電施設の着工凍結を求め運動を進めていきます。

知事の「脱ダム」宣言は、ムダな公

共事業の是正、「川は川らしく、山は山らしく」貴重な自然環境を守るためにみなさんと力を合わせて頑張りたいと思います。

この秋には、下流の方々にもつと山を川を本当の姿を知っていただきたいと思ひ、簡単に登れる登山コースを作つてみたいと準備中です。ぜひ、その時は、また、お出かけ下さい。



暮らしを変える小さな地域経済

『流域自給をつくる』

大豆畑トラストの可能性

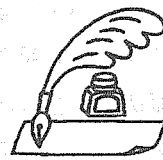
由利厚子(くらしを耕す会)

グローバル経済とテロ

原稿依頼があつてから仕上げるまでの、わずか1周間の間に、アメリカで

同時多発テロ・世界貿易センタービルの崩落という大事件が起きた。

私たちが大豆畑トラストを通して地域で作ろうとしている小さな経済とは対極の、グローバル経済の殿堂の崩壊。無差別テロという手段を支持することはもちろんできないが、かといつて、



自由への攻撃(アメリカの自由へのと言ふべきだと思ふが)というキャンペーンにもまた組する気にはなれない。

テロ、報復、戦争…、恐らく世界中のテレビで、繰り返し人々の脳裏に刷り込まれ、力と数だけが支配する、まるでテレビゲームさながらの貧弱なシナリオにいささかうんざりしながら、恐らく今後世界中の人々の暮らしに影響を及ぼすであろうこの異様な状況から目を離すことができないでいる。

まだ情報も十分でなく、安否のはつきりしない犠牲者が多数いるこの時期に、軽々しくものを言うのは賢明とは

言えないが、この事件に照らして『流域自給をつくる大豆畑トラスト』の意味を振り返ってみた。

### 経済至上主義が切り捨てたもの

政治でも宗教でもない、小さな経済が地域を変える―これは、私たちが大豆畑トラストに託したテーマのひとつです。貨幣というツールは使用しますが、大豆の流通を通して、農家や食べ手の思いが行き交う、小さいけれどオルタナティブな経済…。

耕して種をまく。水をやる。双葉が出て本葉が出る。ハトや虫に食われたところを補植する。まわりの草を取ってやり、土寄せをする。刈り取って干す。脱穀、脱粒する。虫食いや病気で食べられない豆を選別して除く。

およそ半年ほどの間に、これだけの作業を経て、ピカピカの大豆が契約者の元に届く。1年目に届いた大豆を見て、「まるで宝石のよう…」と葉書に書いて返した人がいましたが、農家が受け取ったものも決して小さな経済だけではなかったはず…。

心を込めて食べ物を作る。大切に受け取り、感謝して食べる。このような

暮らしの在り方の喪失は、効率至上主義の貨幣経済が切り捨てたものの中で、もつとも根源的なものの一つではなかったか。

環境、農業、教育…その他、今日私たちが抱える問題は複雑に見えて実はその根はひとつに繋がっており、詰まるところ、かのミヒヤエル・エンデが提起した貨幣経済の弊害という問題に行き着くような気がしています。

今回のテロ事件も、なぜこのような事件が起きたかを考えることなく、真の解決はあり得ないのではないかと思う。

### 流域をひとつの生命地域として

私たちのトラストの始まりは、1年先行した日本消費者連盟の「大豆畑トラスト」にヒントを得ていますが、遺伝子組み換え食品反対運動や大豆の自給運動としてだけでなく、飛騨・木曾川流域をひとつの生命地域（バイオリジョン）と考えて人間と自然の営みを包括的にとらえ、それを『食べる』という、人間の普遍的かつ日常的な営みに落とし込んでシステム化したところに、『流域自給をつくる大豆トラスト』

の独自性があります。

果物ナイフが世界貿易センタービルを破壊し尽くしたことを考えると、時代を撃つヒントは案外、日常的で身近なところにあるのかもしれないと思う。ひとことでは言えませんが、創造と破壊。私たちのトラストとテロには根源的な違いはあるものの、ひとつの潮流に抗おうとする、共通項も見えて興味深い。

### 一口いかがですか？

今年でやつと3年目。自然と付き合い合ったりリスクや都市と農村との落差をつなぐ難しさに翻弄されながらも、夏祭りには100人近くの参加者を得るなど、自然や人との出会いに励まされ、今年も実りの時期を迎えようとしています。十月の枝豆、一月に届く大豆はまだこれからでも出資OK。興味をお持ち頂ける方は、事務局に募集要綱を請求下さい。

### 募集要綱請求先

TEL 052(851)7200  
流域自給をつくる大豆畑トラスト事務局  
名古屋市昭和区広路本町4-2(くらしを耕す会内)

# クマタカもアカショウビンも見たよ！

御嵩<小和沢>野鳥観察の記録（第59回7月25日）より

1996年9月から始めた御嵩へ小和沢へ

月例野鳥観察会は、今月（2001年7月25日）で59回目、来月で満5年になります。この日の参加者は、地元御嵩と犬山・小牧からの老若男女合わせて15人。連日38℃前後の猛暑、酷暑が続き、この日も焼けつくような日差し。でも、森の道を歩くとちよこつとひんやり、爽やか。夏休み中の小学生2人もいっしょに耳を済ませば、杉林の上からメジロの小群がお出迎え。ホオジロ、ウグイスのさえずりもやたらと多く、ヤマガラ、カケスの声も何度か聞こえるけれど、姿はさっぱり：と思っていたら、道路脇の細い木の幹に垂直によじ登って採食するコゲラ2羽。ヒトを無視して文字通り一生懸命です。オオルリが得意の美声を聞かせてくれたと思うと、今度はホオジロも負けじと木のとっぺんから空を見上げるように「サツポローメンミソラーメン」と歌っていました。食いしん坊だからそう聞こえたのかも知れません。ホオジロもウグイスも歌声のバリエーションはい

ろいろあるようですね。

里の棚田は、一枚も耕作されていないので、草が生い茂り、アキアカネ、シオカラトンボが飛び交い、「ギー、チョン」とキリギリスの声も。西側の山際の道をたどると、ウグイスの警戒の声があちこちから。5〜6月ごろはホトトギスもあちこちで鳴いていたので、いまごろは托卵されたホトトギスのひなを懸命に育てているウグイスのお母さんがいるかもしれません。進化の不思議とウグイスもホトトギスも共生して子孫を残すことができる自然の豊かさを思い、そんなことを語り合いながら歩きました。

小和沢公民館入り口のツバメはずでに巢立ったようです。ダムの上空にカラスに追われるハチクマ？と思いきや、すぐ見えなくなり、しばらくして東の山の上からトビに追われて南へ飛び去りました。丸山ダムの上には「森と湖の旬間」と書いたのぼりが立っていて、蘇水湖を巡って下船した子どもたちと案内役の国土交通省ダム管理事務所の職員に出会いました。新丸山ダム建設工事が始まり、ダム湖周辺の野鳥や植物などへの影響、とくにダムのすぐ上流右岸の旅足（たびそく）溪谷に生息するクマタカ（絶滅危惧IB類）の保護対策について職員に聞くと、事前の環境影響評価の調査をして着工していると思うので、八百津町にある同省の新丸山ダム建設事務

所に聞いて欲しいとのことでした。

ダムの右岸を少し登った人道の丘公園の四阿（あずまや）で、いつものとおりお弁当と鳥・花合わせ。仕事明けて遅れて駆けつけて下さったエイさんのお点前でお抹茶と金沢の銘菓をいただきました。いつもながらのお心遣いに感謝、感謝。確認した鳥は、アオゲラ・オオルリなど22種、咲いていた花は、ミズヒキソウなど33種でした。

昨年、八百津町内でアカシヨウビンが子育てしていることが新聞で報道され、大勢のカメラマンが押しかけ、営巣放棄が心配されたので、私たちは自制して出掛けませんでした。今年は日本野鳥の会愛知県支部報『愛知の野鳥』に営巣を放棄したとの記事が掲載されていました。が、子育てしているとの情報もあり、真偽がわからないまま、とにかく行ってみようということになりました。目指すは恵那市に近い潮見。標高500m余り、昔、秋の晴天の日に伊勢湾が望みできたというのが地名のいわれとか。山間の登り道をひた走り、途中で後ろからついてきた県警のパトカーに道を聞くと、親切に先導してくれて、現地に到着。アカシヨウビンは農家の軒下のスズメバチの古巣を利用して営巣していました。その農家の道路沿いの前庭にはずらりとバズーカ砲のようなカメラの砲列。ひなは2羽いるそうで、親鳥が餌を運ぶと一斉

にシャッター音。

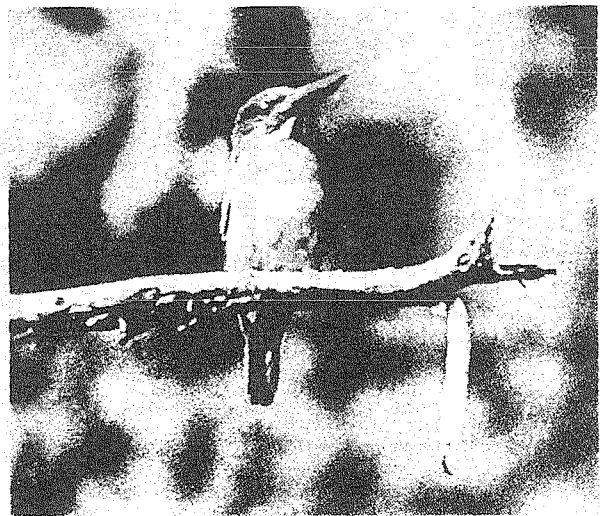
しばらく砲列の後ろからちらっと見せてもらって早々に引き上げました。

「山里は谷の懸桶の絶え絶えに水乞鳥の声きこゆるなり」と西行が詠んだ山里の景観がこのあたりにはまだ残っています。へみずこいどりへはアカシヨウビンの古名

で水恋鳥とも書きます。カメラで追い回すのではなく、アカシヨウビンやクマタカが子育てできる環境を守らなければ…と痛感しました。一度「キヨロロ…」という哀愁に満ちた声を静かに聞きたいものです。

ここにくる途中でも、上空を飛んでいるクマタカ、ハチクマ（準絶滅危惧）を見つけました。人道の丘公園に戻り、みんなで確認して、御嵩から八百津にかけての豊かな自然に感謝しながら帰路につきました。

ふるさとの自然を愛するスズサイコの会 高田秀直



## 流域圏および水源地域保全に関する 最近の動向

糸土 広

### 1. 水源基金

1994年に豊田市が全国に先駆けて始めた水源基金制度が、ゆつくりとではあるが全国に広がり始めている。横浜市や神奈川県が始めたことは私たちも過去に何度か紹介してきたが、今年(2001年)に入つて、日進市、東郷町など2市3町でつくる中部水道企業団や蒲郡市でも始まった。日進市の佐護市長は、一昨年私たちが開催した木曾川流域圏シンポジウムにパネラーとして参加していただいている。東郷町では町議の山口洋子さんが議会で水源基金の必要性を主張されている。私たちNGOの投げた石の波紋が制度を生み出すきっかけになった可能性がある(朝日新聞「源流から②」参照)。

そういえば、昨年2月木曾川流域42市町村長が集まつて「飛騨・木曾川、伊勢湾連携交流会」が開催されたが、その提唱者は石田犬山市長と各務原市長であった。石田市長は、私たちのシンポジウムにやはりパネラーとして参加していただいている。

下流域で安くて安全な水を大量使用する恩恵に浴してきた人々のまなざしが、ようやく疲弊する源流域に向けられ始めてきたことは喜ばしい。それがたとえ今後その恩恵を享受し続けるためのエゴイステイックな動機からであったとしても評価するべき事であろう。

問題は「1トン1円」という金額である。名古屋市の場合なら、現行水道料金のため1%にすぎない。これまでも再三紹介してきたように、御嵩町の水道料金は名古屋市に比べて100%以上(要するに2倍以上)も高いのである。10%くらいは水源基金を上乘せしても腹は立つまい。名古屋市の水道使用総量は1日にちょうど100万トンであるから、「1トン10円」なら1日に1000万円。1年間で36億円になる。これなら上流域の森林保全などに具体的に役に立つ金になる。

ところが現実の名古屋市は、1円どころか水源基金の検討すらしていない。私たちの運動の力が不足していることを痛感させられる。木曾川流域最大の都市用水受益者である名古屋市で、水源基金制度をはじめとする自治体としての上流域へのまなざしの確立を目指

すことが、私たちの最大の課題であろう。

また、木曾川の水を利用しているのは都市用水だけではない。量からみれば農業用水が最大であり、工業用水がそれに次ぐ。水源基金はこれらの受益者においても考えられてしかるべきである。さらに、減反などで実際の水需要が大幅に減っている農業用水の見直しが急務である。

### 2. 森林保全

朝日新聞の2つの記事を見ていただきたい。「論壇」に投稿された和歌山県知事の主張は、骨太の構造改革で犠牲となる労働者に対するセイフティネットの一つとして、「森林組合やNPOを軸にした中山間環境保全組織」をつくり、新たな雇用を創るとともに、源流域の環境保全を図っていきたいというものである。もう一つの記事は、この和歌山県と三重県とが、同じ趣旨で「緑の公共事業で地方版セイフティネット」共同宣言をあげたというものである。

三重県はすでに今年度、宮川村の民有林115ヘクタールを環境林として、県費で管理する事業を開始している。



芦浜原発計画を最終的に止めた決断力  
といい、伊勢市・矢持に計画されてい  
た大型産廃処分場計画を不許可にした  
ことといい、北川県知事の政治センス  
が光る（地元では必ずしも評判は良く  
ないのだが）。それにひきかえ、め  
ろめろの2005年万博にしがみつ  
く神田愛知県知事や、名古屋港水族館に  
禁断のシャチを導入しようとしている  
松原名古屋市長には、光るところが何  
もない。

ともあれ、雇用の創出はともかくと  
して、無能な林野政策とグローバリゼー  
ションで息の根が止まりそうな源流域  
の森林保全に、自治体レベルでの積極  
的な取り組みが始まった事は高く評価  
される。ただし、荒廃している森林面  
積は千数百万ヘクタールであり、10  
0ヘクタールやそこらの取り組みでは  
焼け石に水である。また、かつて40  
〜50万人いた林業労働者は7〜8万  
人まで激減しており、しかもその平均  
年齢は60歳を越えている。急がない  
と、森林の管理技術を持った人々がい  
なくなってしまうのである。前途にか  
すかな光明が見えはしたが、いまだに  
あたりは漆黒の闇というところであ  
る。

### 3. 水利権

信濃毎日新聞の記事によれば、橋本  
高知県知事が四万十川本流唯一のダム  
である家地川ダムの水利権更新を前  
にして、水利権更新期間を現行の30年  
から大幅短縮する事を国に求めていく  
ことを表明したという。高知県は「四  
万十・流域圏学会」を立ち上げるなど  
四万十川流域圏を意識した政策を展開  
しつつあるが、水利権更新問題はそ  
れ核心的問題の一つである。

私たちの木曾川には、数十のダムが  
あり、様々な水利権が張り巡らされ、  
保守政治家の利権の温床になってい  
るものもある。都市用水が枯渇して断水  
騒ぎになっても、無用な工業用水や農  
業用水がたれながされているといった  
事態も起きている。都市用水同士であ  
っても、水利権の取得時期や方法の違  
いから、一方は1日4時間通水の悲惨な  
状況だというのに、その隣の町では  
24時間通常通水であったりした。こ  
れは愛知用水を利用する市町村と名古屋  
市との間で本当に起きた事態であ  
った。こうしたすべての水利権を洗い出  
し、それが本当に必要なものなのか、  
更新期限はいつなのかといったこと全

てを明らかにする作業を、私たち自身  
の手で始めて行かなければならない。

### 4. ダム建設

9月14日の朝日新聞は、設楽ダムが  
建設容認の方向へ1歩進んでしまった  
事を報道している。計画発表から29  
年間も建設を止めてきたのに、もうダ  
ムを造るのはやめようという考え方が  
ようやく市民権を得始めてきた今にな  
つて、「豊川の明日を考える流域委員会」  
というまるで市民運動体のような名前  
の御用委員会が、建設容認の結論を出  
したのである。委員会のメンバーには  
豊橋市長や設楽町長が入っていたとい  
うから、当然の成り行きだったのかも  
しれないが、大変残念である。

たくさんの人々の反対を押し切って  
建設された長良川河口堰は、予想通り  
に長良川の生態系を破壊し、水が売れ  
ないために大赤字となって税金が投入  
されている。木曾川水源から河口堰水  
源へと無理やり切り替えられた知多半  
島の人々は、アンモニアやリンの濃度  
が高く、アオコが湧くために常時活性  
炭が投入されている水を飲まされてい  
る。

徳山ダムも工事が開始されてしまった。

もう水は余っているのに、無駄な公共事業の典型例なのに、残念ながら計画は中止にならなかつた。そのツケはやがて、水道料金の値上げや更なる税金の投入という形で市民、国民の上にかかりかかってくる。それよりも、ダム建設で破壊される源流域の自然環境とそこに住んできた人々の暮らしと歴史とを抹殺してしまつた。

ダムの治水能力がまゆつば物であることもまた明らかになりつつある。アメリカやヨーロッパでは、既存のダムさえも取り壊し、自然のままの河川をよみがえらせる工事さえ始まつている。東海豪雨で証明された事は、市街地の乱開発が洪水の出水速度を上げた事であり、「絶対切れない堤防神話」が人々の自立能力や自助能力をダメにしたことが被害を大きくしたということであつた。実は神話はウソであつた事が、当の建設省（現国土交通省）からさえ表明されているのである。

もう専門家にだけまかせてはいけない。流域の事は全ての市民が考え行動していかなければならない時代になつたのである。

## 5. 間伐材と経済

私たちの「みたけ・水源の森」も、森開きから3年が過ぎた。10月の第2土曜日には森の音楽会も計画されている。周回散策路がやつと完成し、周辺の松林の間伐作業から得られた丸太材で小屋を建てる準備が進んでいる。このささやかな経験から考えても、森林の手入れというのは容易な事ではない。

森崎洋路さんの「山造り承ります」（川辺書林）によれば、かつて間伐の費用は間伐材を売った収益でまかなわれていたそうである。しかるに現在は間伐材のマーケットがなく、したがつて間伐作業をすれば森林経営の赤字が増えるために、間伐も枝打ちも怠つて幽霊屋敷のようになった森が増えているのである。この状態を正常に戻すには、精神力や良心だけでは太刀打ちできない。やはり根本的解決には経済の回路を通らなければならぬのである。

引用した新聞記事のように、どうかして間伐材のマーケットを創る努力は大切である。それから、グローバリゼーションという名のブラックホールから吹き出す破壊の風に対して、政治の力で風除けを造る必要がある。それは単なる保護経済の復活ではなく、

森林の持つ炭酸ガス吸収能力や水源涵養能力などもろの貢献を経済的に正当に評価することである。また、外国とりわけ治外法権状態になつている国々で暴力的に伐採された木材が安く輸入される状態は、正当な経済とは言えない。ミンダナオやカリマンタンのように、伐採によつて消滅した熱帯林をそのままにしている経済はフェアではない。外国から安く入ってくる木材を運ぶ船が炊く石油が、環境の観点から見て不当に安いこともまた、環境と経済を狂わせている。すなわち、私たちは環境を破壊したり、汚染を垂れ流しても知らないふりをして、不正な経済を洗い出し、フェアな経済を目指す事から始める必要があるのである。そうすれば、間伐材も木材そのものも、正当な価値で取引され、第3世界の自然や労働力を不当に搾取した外材に負けるような事はなくなるであらう。

日本では反グローバリゼーション運動は極めて不十分であるが、欧米ではWTOやサミットに抗議する運動が何万人もの人を集めている。そのエネルギーはまさにこの本当にフェアな経済を目指すところから生まれているのである。（了）



# 水

## から

### ②

は約千五百円になる。

「一、四〇立方メートル  
円」一四一八〇立方メートル  
六十一円」……

二、二立方メートル、各戸に配  
られる要知東豊田市の水道  
検針票には、裏面に一立方  
メートルあたりの水料金金が、こ  
う記されている。水区分分  
ごとの単価に「二円」の端  
数がついているのが特徴  
だ。「一立方メートルにつき二円  
は水源保全のために使用さ  
せていただきます」と説明  
がある。

豊田市の一九九四年、全  
国で初めて、水道使用料か  
ら、水源の矢作川上流の森  
林保全のために積み立てる  
「水道水源保全基金」を創  
設した。一世帯平均の負担

は、年約三百円の私有林の  
間伐が理想的だ。しかし、  
豊田市の補助事業も活  
用し、今年度、間伐したの  
は、年約三百円の私有林の  
間伐が理想的だ。しかし、  
豊田市の補助事業も活  
用し、今年度、間伐したの

は、年約三百円の私有林の  
間伐が理想的だ。しかし、  
豊田市の補助事業も活  
用し、今年度、間伐したの

は、年約三百円の私有林の  
間伐が理想的だ。しかし、  
豊田市の補助事業も活  
用し、今年度、間伐したの

は、年約三百円の私有林の  
間伐が理想的だ。しかし、  
豊田市の補助事業も活  
用し、今年度、間伐したの

は、年約三百円の私有林の  
間伐が理想的だ。しかし、  
豊田市の補助事業も活  
用し、今年度、間伐したの

は、年約三百円の私有林の  
間伐が理想的だ。しかし、  
豊田市の補助事業も活  
用し、今年度、間伐したの

は、年約三百円の私有林の  
間伐が理想的だ。しかし、  
豊田市の補助事業も活  
用し、今年度、間伐したの

は、年約三百円の私有林の  
間伐が理想的だ。しかし、  
豊田市の補助事業も活  
用し、今年度、間伐したの

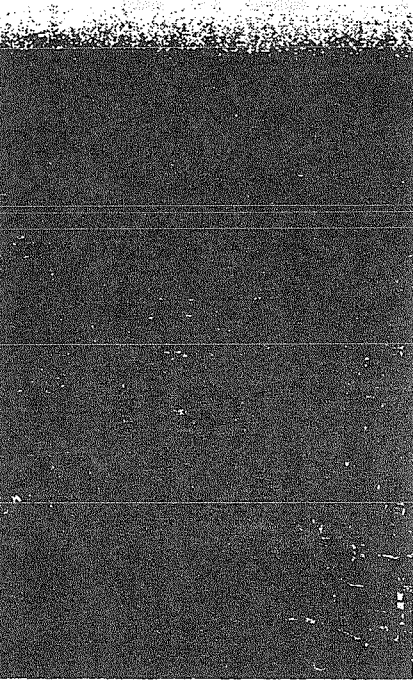
は、年約三百円の私有林の  
間伐が理想的だ。しかし、  
豊田市の補助事業も活  
用し、今年度、間伐したの

は、年約三百円の私有林の  
間伐が理想的だ。しかし、  
豊田市の補助事業も活  
用し、今年度、間伐したの

は、年約三百円の私有林の  
間伐が理想的だ。しかし、  
豊田市の補助事業も活  
用し、今年度、間伐したの

は、年約三百円の私有林の  
間伐が理想的だ。しかし、  
豊田市の補助事業も活  
用し、今年度、間伐したの

は、年約三百円の私有林の  
間伐が理想的だ。しかし、  
豊田市の補助事業も活  
用し、今年度、間伐したの



# 水1トン1円」全国へ流れ

にはとても足りないが、で  
きることから始めよう」と提  
案した」と語り。

一円の積み上げは年約四  
千六百万円。これまでに約  
三億円がたまった。今年度  
から、約二千万円を使っ  
て、矢作川源流に近い県内  
の上流五町村の間伐などを  
支援し始めた。

上流の一つ要知東豊田町で  
は、年約三百円の私有林の  
間伐が理想的だ。しかし、  
豊田市の補助事業も活  
用し、今年度、間伐したの

は、年約三百円の私有林の  
間伐が理想的だ。しかし、  
豊田市の補助事業も活  
用し、今年度、間伐したの

は、年約三百円の私有林の  
間伐が理想的だ。しかし、  
豊田市の補助事業も活  
用し、今年度、間伐したの

は、年約三百円の私有林の  
間伐が理想的だ。しかし、  
豊田市の補助事業も活  
用し、今年度、間伐したの

は、年約三百円の私有林の  
間伐が理想的だ。しかし、  
豊田市の補助事業も活  
用し、今年度、間伐したの

は、年約三百円の私有林の  
間伐が理想的だ。しかし、  
豊田市の補助事業も活  
用し、今年度、間伐したの

は、年約三百円の私有林の  
間伐が理想的だ。しかし、  
豊田市の補助事業も活  
用し、今年度、間伐したの

は、年約三百円の私有林の  
間伐が理想的だ。しかし、  
豊田市の補助事業も活  
用し、今年度、間伐したの

は、年約三百円の私有林の  
間伐が理想的だ。しかし、  
豊田市の補助事業も活  
用し、今年度、間伐したの

は、年約三百円の私有林の  
間伐が理想的だ。しかし、  
豊田市の補助事業も活  
用し、今年度、間伐したの

は、年約三百円の私有林の  
間伐が理想的だ。しかし、  
豊田市の補助事業も活  
用し、今年度、間伐したの

は、年約三百円の私有林の  
間伐が理想的だ。しかし、  
豊田市の補助事業も活  
用し、今年度、間伐したの

は、年約三百円の私有林の  
間伐が理想的だ。しかし、  
豊田市の補助事業も活  
用し、今年度、間伐したの

は、年約三百円の私有林の  
間伐が理想的だ。しかし、  
豊田市の補助事業も活  
用し、今年度、間伐したの

は、年約三百円の私有林の  
間伐が理想的だ。しかし、  
豊田市の補助事業も活  
用し、今年度、間伐したの

は、年約三百円の私有林の  
間伐が理想的だ。しかし、  
豊田市の補助事業も活  
用し、今年度、間伐したの

は、年約三百円の私有林の  
間伐が理想的だ。しかし、  
豊田市の補助事業も活  
用し、今年度、間伐したの

は六十五分、うち十五分  
は豊田市からの基金を財源  
にした。

名古屋市の東に隣接する  
要知東白通市、東郷町など  
二市三町は要知中部水連企  
業団をつくり、木曾川から  
取水する要知用水の恵みを  
分け合っている。

九八年から、同企業団の  
長を務める塚本三雄・三  
好町長は「町の発展は木曾  
の水が源泉」と力を込め

今年六月からは、料金改  
定にあわせ、一、一あたり一  
円を徴収し、「水源環境保  
全基金」を創設する。要知

約七割が農業用水に利用さ  
れている。「水利権など複  
雑でまだ具体的に手をつけ  
ていない」(事務局長)と負  
担の不均等を認める。農業  
用水、工業用水の受益者が  
水源保全にどうかわる  
か。木曾川でも矢作川でも  
同じ課題を抱える。

「二、二円」は、木材備  
蓄の低減で林業が成り立  
たず、手入れが行き届かなく  
なった私有林の水源かん養  
を、たれが守るかとい  
う問題を投げかけている。

「二、二円」は、木材備  
蓄の低減で林業が成り立  
たず、手入れが行き届かなく  
なった私有林の水源かん養  
を、たれが守るかとい  
う問題を投げかけている。

「二、二円」は、木材備  
蓄の低減で林業が成り立  
たず、手入れが行き届かなく  
なった私有林の水源かん養  
を、たれが守るかとい  
う問題を投げかけている。

「二、二円」は、木材備  
蓄の低減で林業が成り立  
たず、手入れが行き届かなく  
なった私有林の水源かん養  
を、たれが守るかとい  
う問題を投げかけている。

「二、二円」は、木材備  
蓄の低減で林業が成り立  
たず、手入れが行き届かなく  
なった私有林の水源かん養  
を、たれが守るかとい  
う問題を投げかけている。

「二、二円」は、木材備  
蓄の低減で林業が成り立  
たず、手入れが行き届かなく  
なった私有林の水源かん養  
を、たれが守るかとい  
う問題を投げかけている。

「二、二円」は、木材備  
蓄の低減で林業が成り立  
たず、手入れが行き届かなく  
なった私有林の水源かん養  
を、たれが守るかとい  
う問題を投げかけている。

「二、二円」は、木材備  
蓄の低減で林業が成り立  
たず、手入れが行き届かなく  
なった私有林の水源かん養  
を、たれが守るかとい  
う問題を投げかけている。

「二、二円」は、木材備  
蓄の低減で林業が成り立  
たず、手入れが行き届かなく  
なった私有林の水源かん養  
を、たれが守るかとい  
う問題を投げかけている。

「二、二円」は、木材備  
蓄の低減で林業が成り立  
たず、手入れが行き届かなく  
なった私有林の水源かん養  
を、たれが守るかとい  
う問題を投げかけている。

「二、二円」は、木材備  
蓄の低減で林業が成り立  
たず、手入れが行き届かなく  
なった私有林の水源かん養  
を、たれが守るかとい  
う問題を投げかけている。

「二、二円」は、木材備  
蓄の低減で林業が成り立  
たず、手入れが行き届かなく  
なった私有林の水源かん養  
を、たれが守るかとい  
う問題を投げかけている。

「二、二円」は、木材備  
蓄の低減で林業が成り立  
たず、手入れが行き届かなく  
なった私有林の水源かん養  
を、たれが守るかとい  
う問題を投げかけている。

「二、二円」は、木材備  
蓄の低減で林業が成り立  
たず、手入れが行き届かなく  
なった私有林の水源かん養  
を、たれが守るかとい  
う問題を投げかけている。

# 水世紀

え。豊田市の事務局を置  
く「水の国産づくりの会」  
は九七年に発足した特定非  
営利法人(NPO)だ。豊  
田商工会議所前会館が理事  
長、農協や森林組合長など  
が幹事名を連ねる。

豊田市の自治体が共同  
歩調で水連水一、二円の水  
源基金を設けるよう呼びか  
けてきた。

矛盾もある。豊田用水は  
約七割が農業用水に利用さ  
れている。「水利権など複  
雑でまだ具体的に手をつけ  
ていない」(事務局長)と負  
担の不均等を認める。農業  
用水、工業用水の受益者が  
水源保全にどうかわる  
か。木曾川でも矢作川でも  
同じ課題を抱える。

「二、二円」は、木材備  
蓄の低減で林業が成り立  
たず、手入れが行き届かなく  
なった私有林の水源かん養  
を、たれが守るかとい  
う問題を投げかけている。

「二、二円」は、木材備  
蓄の低減で林業が成り立  
たず、手入れが行き届かなく  
なった私有林の水源かん養  
を、たれが守るかとい  
う問題を投げかけている。

「二、二円」は、木材備  
蓄の低減で林業が成り立  
たず、手入れが行き届かなく  
なった私有林の水源かん養  
を、たれが守るかとい  
う問題を投げかけている。

「二、二円」は、木材備  
蓄の低減で林業が成り立  
たず、手入れが行き届かなく  
なった私有林の水源かん養  
を、たれが守るかとい  
う問題を投げかけている。

「二、二円」は、木材備  
蓄の低減で林業が成り立  
たず、手入れが行き届かなく  
なった私有林の水源かん養  
を、たれが守るかとい  
う問題を投げかけている。

「二、二円」は、木材備  
蓄の低減で林業が成り立  
たず、手入れが行き届かなく  
なった私有林の水源かん養  
を、たれが守るかとい  
う問題を投げかけている。

「二、二円」は、木材備  
蓄の低減で林業が成り立  
たず、手入れが行き届かなく  
なった私有林の水源かん養  
を、たれが守るかとい  
う問題を投げかけている。

「二、二円」は、木材備  
蓄の低減で林業が成り立  
たず、手入れが行き届かなく  
なった私有林の水源かん養  
を、たれが守るかとい  
う問題を投げかけている。

「二、二円」は、木材備  
蓄の低減で林業が成り立  
たず、手入れが行き届かなく  
なった私有林の水源かん養  
を、たれが守るかとい  
う問題を投げかけている。

「二、二円」は、木材備  
蓄の低減で林業が成り立  
たず、手入れが行き届かなく  
なった私有林の水源かん養  
を、たれが守るかとい  
う問題を投げかけている。

「二、二円」は、木材備  
蓄の低減で林業が成り立  
たず、手入れが行き届かなく  
なった私有林の水源かん養  
を、たれが守るかとい  
う問題を投げかけている。

「二、二円」は、木材備  
蓄の低減で林業が成り立  
たず、手入れが行き届かなく  
なった私有林の水源かん養  
を、たれが守るかとい  
う問題を投げかけている。

「二、二円」は、木材備  
蓄の低減で林業が成り立  
たず、手入れが行き届かなく  
なった私有林の水源かん養  
を、たれが守るかとい  
う問題を投げかけている。

「二、二円」は、木材備  
蓄の低減で林業が成り立  
たず、手入れが行き届かなく  
なった私有林の水源かん養  
を、たれが守るかとい  
う問題を投げかけている。

「二、二円」は、木材備  
蓄の低減で林業が成り立  
たず、手入れが行き届かなく  
なった私有林の水源かん養  
を、たれが守るかとい  
う問題を投げかけている。

「二、二円」は、木材備  
蓄の低減で林業が成り立  
たず、手入れが行き届かなく  
なった私有林の水源かん養  
を、たれが守るかとい  
う問題を投げかけている。

# ◆地方活性化 山の環境保全で雇用創出



木村良樹 和歌山県知事

小泉構造改革が閉そく感打破を望む国民の期待の中で支持される一方、経済の状況は深刻さを増している。経済のグローバル化が進む中で、市場効率の悪い部分を整理し、人材や資源を成長分野に移していく必要があることは明らかだ。しかし、秋から年末にかけては深刻な失業や地方経済の衰退も想定され、構造改革への支持に気迷いが生じてきているようにも思われる。

このような中、来年度予算の重点7分野が示されたが、私は、7分野のうち環境問題、地方の活性化、高齢化の3分野にまたがり、雇用の創

出にもつながらる森林、清流など中山間部(山あいの地域)の環境保全対策を、ぜひ政策の柱の一つに加えてもらいたいと考えている。

構造改革の過程で多くの人が仕事を失うといわれている。これをITなどの成長分野で吸収するということが、それだけでよいのだろうか。人間は機械ではない。適応性の問題もある。自殺者が急増している状況を考えれば、雇用の受け皿の多様化を図ることが必要である。

職を求めて都市から農村に移り住むイターンを望まなかつた地元の人々も、高齢化で、ぜひとも若い活力を望む方向に変わってきている。田舎で活動したい人とそれを望む人

双方がいるのになかなか合わないのは、林業が低迷を続ける中で、今の中山間地域には所得を保障する仕組みが欠けているからである。私は、住民対話の中で、「部会から移り住みたいという問い合わせに、本当は来てほしいのだが収入のことを考え、来ない方がよいと答えている」という話を聞き、もどかしい気分を味わった。

環境管理に焦点をあてた施策は、地方の公共事業に厳しい部会人の声援も期待でき、ふるさとを捨てない部会人の急増による都市と地方の対立の緩和に役立つ。小泉構造改革は、地方交付税や国庫支出金の削減など性急さが目立ち、経済効率性が重視されすぎているともいわれる。この改革に厚みを持たせ、自主的な受け皿組織作りを通じて地方の自立にもつなげるといふ観点から、一考を求めたい。

自治省財政局指導課長、大阪府副知事などを歴任。49歳。

2001年(平成13年)9月4日

## 森林保全は「公共事業で」

木村良樹・和歌山県知事と北川正彦・三重県知事が3日、森林の環境保全を公共事業で進め、自然の回復と雇用拡大を同時に図ろうと、「緑の公共事業で地方版サーフェイネットを」の共同宣言をした。国の政策にも取り入れるよう、協力して働きかける。両県は山間地が多く、紀伊半島を分け合う隣同士。和歌山県と三重県は

森林環境創造事業を始め、富川村の国有地約1152㌔を環境林として20年間管理することにした。来年度以降も環境林を増やすという。両県環境部森林保全課は「森林を公共財とみて投資するのは道路を造るのと同じ」と話している。

雇用を拡大させることができ、過疎化の進む地域の活性化にもつながるとしている。三重県側はすでに今年度、

和歌山県と三重県は環境にも雇用にもマル

# 四万十川のダム 水利権更新短く

高知県知事求める

最後の清流と言われる四万十川本流を唯一導る四国電力の通称「家地川ダム」(高知県高岡町)の水利権更新を四月に控え、橋本大二郎知事は二十六日の県議会での議案提案説明で、水利権の更新期間を現行の三十年から大幅短縮することを国に求めると表明した。今回の更新については「やむを得ない」とした。

家地川ダムの正式名称は佐賀取水堰(せき)。発電に使った後の水を川に還元さないため、流域の大正町など五町村と四万十川流域などが「清流を導き」とダム撤去を求めている。

更新手続きの中で知事は

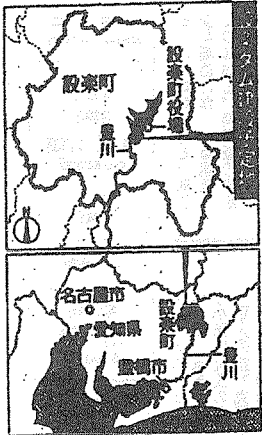
国土交通省に意見を述べることになっている。これまで発電用ダムの撤去が認められたことはないが、知事意見に反した内容での水利権の更新例もないという。

橋本知事は「四万十川への思いは流域の住民と同じ。全国に轉れるような四万十川ならではの放流量の実現や、今後の川の在り方を考える仕組みづくりなどに向け、関係機関と早急に協議したい」と述べた。

家地川ダムについては、県が設置した検討協議会が撤去、存続の両派から意見を聞いて今月、撤去と条件付き存続の両論を盛り込んだ報告書をまとめている。

橋本知事は「これまで『将来的にはダムの撤去が望ましい』。社会環境の変化を踏まえて判断するためには水利権の三十年間は長すぎるとしていた。

信濃毎日新聞 2001年2月27日より



2001/2/27  
 要知案設楽町で計画されている設楽ダムの建設は非に於いて、国土交通省が設置した地元学識経験者による委員会が十四日開かれ、ダム建設を認める方針を決めた。委員会は上流域の環境保全を重視する点と、四月中をめどに同意に達す。計画発表から二十九年度に於いて、設楽ダムは建設に向けて踏み出すことになる。治水、利水などの多目的ダムだが、「水は足りている」との主張もあり、今後、議論の場は公明会などに移る。

2001/2/27

## 地元の発表から29年目 委員会

# 設楽ダム建設容認

(8面に関係記事)  
 高岡町市長は、判断を待たせて地元意見の反映が盛り込まれたのを要し、九八年に同委員会が設置された。設楽町市長や豊橋市長ら地元自治体の首長や大学教授など二十一人で構成されている。ダム計画については、豊橋市などの市民団体が、ダム建設予定地の住民に犠牲を強いるばかりか、既存の設備で水は確保されると主張。国の天然記念物の不コナキなどが生息しており、生態系や水質に悪影響を及ぼすと批判している。

同県豊橋市で「豊川の明日を考える流域委員会」(委員長・藤田佳久、高知大学学識経験者)が開かれた。前回までに絞っていた「ダムを導る案」と、天竜川などほかの水系から水を引いて「ダムを導らない案」のどちらにするかを議論した。委員を除いて、出席した九人の委員のうち、六人が治水、利水の効果があるとして、「ダムを導る案」に賛成。二人が治水の必要は賛成、環境への悪影響の大きさを主張し、ダム建設に反対した。地元設楽町の後

設楽ダム 三河湾に注ぐ豊川水系の上流、要知案設楽町に計画されている治水水量一億七千万立方メートル、一九七三年に計画が公表され、建設費は九十七年度の概算で約一千億円が算出されている。洪水防止や、揚水を緩和する新しい水質として、環境を保持。当初、地元の反対が強く足跡が深い。

一九九七年の河川法改正

# 市場で育てた間伐材

2001.9.1  
朝日



## くらし

水を大きく育てるために切り出され、青  
ちが悪いと見向きもされなかった間伐材  
を、有効利用しようという動きが広がっ  
ている。戦後にくれた人工林が、間伐さ  
れなかったり、切ったまま放置されたりし

### 森の再生狙い、作り手が連携

新鮮な木の香りに満  
ち、滑らかな木目が目  
に優しい。新潟県上越市の  
居酒屋「和伊太屋四季  
彩」。住むテーブル、イ  
ア、スチール製から切り



新しい木の香りに満ち、滑らかな木目が目に優しい。新潟県上越市の居酒屋「和伊太屋四季彩」。住むテーブル、イア、スチール製から切り出された木材が、店内の調子を整えている。店主の桐木隆雄さん（46）は「40〜50年代のお客さんから『滑らか』と好評で、売り上げが朝増

### 利用法にも広がり

ここ数年、間伐材の利用方法は多様化し、広がりを見せている。

早稲田大学生協では、88年から大学食堂で使うしを、ポリカーボネート製から厚紙製で切られた間伐材

### 割りばし／学校机／防音壁／魚礁

10の大学生協のうち、47

使用を推進してきた東京都のNPO「樹恵ネットフ

体では、地元の間伐材で作った学習机とイスを小中学校で使用しようになった。また、公共事業でも、高速度

などの針葉樹の間伐材を叩き入れていた。間伐材が魚礁の低減や林業の担い手不足

### 6割は山に放置

1ト、5年で150万枚を目撃し、自給自足と森林所有者に呼びかけている。全国森林組合連合会によると、現在利用されている間伐材は4割程度で、残り6割は山に放置されている。連合会会長渡辺謙治の近畿地区



間伐材認定シール

「間伐材」を具体的に示したのが、製品には「一本と連立研究所」発行のシールだ。同研究所が、地元の間伐材で作ら

価格や高め  
価格は大手スチール家具メーカーより平均で2割ほど高いが、調子さんは「処分にかかる費用を考えるとコストはむしろ安く感じる」と話す。環境意識の高まりを背景に売り上げは伸び、8年度は3千万円から、今年度は4千万円、4千万円を超えた。

温暖化防止  
促進効果も  
佐藤一・東京農工大  
環境学助教授の話 森林は地球から30年程度までは二酸化炭素(CO2)を効果的に吸収するが、その吸収能力は徐々に低下していき、吸収能力は弱まる。木材として利用すれば、炭素を固定したまま、CO2は放出されない。適正な時期の間伐と利用は、地球温暖化防止に役立つ。

「つながった」とい  
カタログ直販  
改装を駆け負ったのは、上越地域の産直店「ウツ社」で作る協同組合「ウツドワーク」。96年から地元の間伐材を使った家具作りを取り組む職人集団だ。イスや学習机、棚などの家具をカタログ直販している。

「間伐材が使われる」として、国内の森林資源が豊富であることが認められていることを、消費者に知ってもらいたいと、同研究所が呼びかけている。木材は森林組合と連携して、年割りで購入する。間伐材は最も大きな課題は切っても赤字になるから。ウッドワークは、市場では1立方メートル以下にたたかると買収する。山元が損をしないため、間伐材は進んでいく。

て、荒廃していることが背景にある。間伐材製品の価格は少々高めだが、地球温暖化防止や木の保全につながる。消費者の理解が普及の鍵になりそうだ。

「間伐材が売られる」として、国内の森林資源が豊富であることが認められていることを、消費者に知ってもらいたいと、同研究所が呼びかけている。木材は森林組合と連携して、年割りで購入する。間伐材は最も大きな課題は切っても赤字になるから。ウッドワークは、市場では1立方メートル以下にたたかると買収する。山元が損をしないため、間伐材は進んでいく。

月曜日	環境・安全	kankyo@
火曜日	仕事・年金	shigoto-nenkai@
水曜日	医療・介護	iryu-kaigo@
金曜日	少子	shoushi@
日曜日	消費	shouhi@

以下はいつでも  
ed.medi.com  
カット・和紙

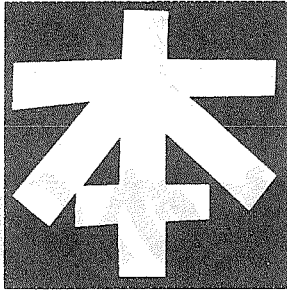
## コリン・小林「ゲランドの塩物語」(岩波新書)

上杉謙信が敵である武田信玄に塩を送った故事を知る人は多いかもしれない。生命の維持にはならない塩にまつわる故事、格言のたぐいはたくさんある。聖書に書かれた「地の塩」は、歴史に名こそ残さないが、本来の意味で歴史の虹を織る人々の事だ。色川大吉さんが『明治の文化』の中で記録した草の根の自由民権運動家達は、クリスチャンではないがまさに「地の塩」の人々だ。彼らが書いた五日市憲法草案は自治と人権の理想に満ち満ちていた。その後制定された大日本帝国憲法が天皇主権のもと、侵略と流血の歴史を刻んで行ったのと対照的であった。

しかし、なんでも簡単に手に入る物質文明まったくなかにいる人々の多くは、毎日食べている塩の変質に無頓着である。飽食の時代の生活習慣病への怖れから、塩分量だけは注目されるが塩の質はほとんど問われていない。

パリから特急で3時間、ブルターニュ半島の南側の付け根のあたり、ロワール川河口右岸にあるゲランドは古くから塩の産地であった。しかし芸術と食の国フランスにして、地中海産の安価な塩に押されて古式塩田製法によるゲランドの塩は不振を極め、塩田は放棄され、あるいはリゾートホテルに身売りする事態となっていた。

こうした瀕死の状態にあったゲランドの塩田をよみがえらせたのは、1960年代後半にあのパリで学生運動に参加してその後の人生の方向が決まった人々であった。大学や街路を解放区とするソルボンヌコミュニティやカルチエラタン闘争は、世界中で巻き起こった若者たちの反体制運動のシンボルであった。当時日本でも、全国の大学で学問の本質を問い、ベトナム反戦が



スローガンとなってパリケードが築かれた。全共闘運動である。国家や企業や富者のための学問を告発し、その申し子となるうとしてエスカレーターを昇って来た自分自身を告発する自己否定運動が、多くの若者の人生を変えた。

ゲランドにやってきた若者達は、生き残っていた塩職人から塩田の技術を学び、リゾート開発から環境を守ろうとしていた人々と合流して、塩田の再生に取り組んだ。石油や電気のパワーを使わず、潮の干満と太陽の力だけで、巧妙に組み立てられた塩田システムの中でゆつくりと濃縮された北海の水から、やがて塩の花(フルール・ド・セル)が結晶していく。それはマルセーユあたりで近代合理主義の論理で大量生産される塩とは違って、まさに有機農産物なのである。まして、(旧)日本専売公社が売ってきたイオン交換隔膜電解法による塩化ナトリウム100%の塩とは似ても似つかない。忘れられていたふくよかな甘味、奥深い上品な鹹味が再び認められ、フランス料理のレストランではなくてはならないものとして復活したのである。

近代合理主義が引き起こした様々な環境破壊、環境ホルモンなどの化学物質汚染、放射能汚染、はては恐牛病や遺伝子組換えにいたるまで、人類は取り返しのつかないほどの破壊と汚染を積み重ねてきた。その流れを変えるために生まれたエコロジー運動が、ヨーロッパを発祥の地として世界中に広がり始めている。ゲランドの塩物語はその始まりの時期に生まれたエピソードの一つである。それを担った人々が、かつての若者運動から生まれた「地の塩たち」であったことも興味深い。

ちなみに、著者コリン・小林氏も、そして、この小文を書いている筆者自身も、かつて全共闘運動に身を投じた若者の一人である。あの時を人生の岐路として、一粒の地の塩たらんと生きてきた者同士が、塩物語で再会したこともまた興味

深い。ご一読をすすめます。

\*なお、来年あたり、グランドへの勉強の旅を計画できると良いと思っています。もちろん、ガイドはコリン小林さんにお願ひするつもりです。

(この文章を、さるミニコミに載せたところ、「ガラ紡をネパールへ送る会」の朝倉さんからお手紙をいただきました。かつて、水車の力で動く綿紡績機として各地で活躍した「ガラ紡」を修理して蘇らせ、それをネパールに送る運動を豊橋で主宰している方です。古式入浜塩田の復活と、「ガラ紡」の復元と新しい活躍の場へのプレゼントとが重なって見えたということでした。愛知県は「ガラ紡」日本一だったんですね。)

(糸土 広)

(\*『地の塩』はクリスチャンでもない不信心の筆者の勝手な解釈です。本職の神父の由井さん、あるいは宮下さんから一言あるかな? 映画『地の塩』もおすすめです。)

## レイチェル・カーソン「センス・オブ・ワンダー」

●上遠恵子訳 ●新潮社発行 ●定価1400円十税  
アメリカの海洋生物学者であり、作家でもあったレイチェル・カーソンは、1962年に『沈黙の春』を発表し、環境汚染と生態系の破壊の恐ろしさを、初めて世界に訴えた女性として、広く知られています。レイチェルは『沈黙の春』の単行本出版の、わずか1年半後の1964年4月14日に56年の生涯を閉じました。その翌年、私たちが最後のメッセージとして友人たちの手で出版されたのが『センス・オブ・ワンダー』です。

この本は、レイチェルが姪の息子のロジャーという幼子といっしょに、別荘のあったメイン州の海辺や森の中を探検し、星空や夜の海

# おすすめの

を眺めた体験をもとに書かれた作品で、子どもにとって、自然の美しさ、神秘さや不思議さに目を見張る感性センス・オブ・ワンダーを育むことの大切さを、詩情豊かな文章で、静かに語りかけています。

この作品は、長編記録映画としてグループ現代(小泉修吉監督)によって映像化され、7月から自主上映で全国公開されています。メインの森と海辺の自然のうつろいを、翻訳者の上遠恵子さんが追体験し、そのなかで朗読するという「朗読ドキュメンタリー」という新しいジャンルの映画です。嵐の海辺や森を駆けるイメージシーンには、ロジャーの息子のイアン・クリステイヤー君が出演しています。

この本も、映画化を機に装いを変え、カバーと本文の写真をすべてロケに同行した森本二太郎さんがメイン州で写した写真に全面的に入れ替わりました。

上遠恵子さんが、映画のラストで「私のもっとも好きな箇所」を朗読していますが、その中にいつも私を支えてくれている素敵な言葉があります。「地球の美しさと神秘を感じとれる人は、科学者であろうとなかろうと、人生に飽きて疲れたり、孤独にさいなまれることはけつしてないでしょう。たとえ生活のなかで苦しみや心配ごとにあつたとしても、かならずや、内面的な満足感と、生きていくことへの新たなよるこびへ通ずる小道をみつげだすことができると信じます。地球の美しさについて深く思いをめぐらせる人は、生命の終わりの瞬間まで、生き生きとした精神力をたもちつづけることができるでしょう。」

映画を見た人も、まだ見る機会のない方も、この美しく可愛い本を手もとにおき、繰り返し読んで、持続する意思の力として、自分のセンス・オブ・ワンダーを育ててほしいと願わずにいられます。

(高田秀直)



水源の森のみたけ  
森開き3周年記念コンサート  
森のささやぎ

みたけ・500万人の木曾川・水トラストでは、岐阜県御嵩町に「水源の森・みたけ」を開き、周回散策路造りや間伐作業などに取り組んできましたが、この度、森開き3周年を記念して、下記の要領で森の音楽会を開催する事になりました。

みなさんお誘いあわせの上、ふるってご参加ください。

記

●水源の森・みたけ 森開き3周年記念コンサート “森のささやぎ”

●とき&ところ：10月13日(土)午前10時 御嵩町中公民館（名鉄御嵩線、御嵩口下車、徒歩5分）集合

※御嵩口は、終点の一つ手前です

※名鉄新名古屋駅から直通の急行御嵩行きが30分に1本出ています

※車でおいでの方も、中公民館に集合して下さい。（相乗りをお願いする事があります）

※お弁当と水筒をお忘れなく

●参加ミュージシャン

◇フォルクローレ・グループ「キルキンチョ」

◇フォークシンガー：宮本猛

連絡先：TEL 0574-64-0216（中村）  
TEL & FAX 052-779-4291（大沼）

◆森の作業今後の予定

水源の森・みただけで  
間伐と小屋作りを始め  
てもうすぐ1年になり  
ます。今号の報告にあ  
りますように、作業は  
なかなかほかどりませ  
んが飲んで、食べて、  
楽しく気長にやってい  
きたいと考えています。

10月13日(土)

の森開き3周年記念コ  
ンサート以降の作業予  
定は、毎月第2土曜日  
で下記の通りとなっ  
ています。みなさんご  
参加ください。

◆助成金で購入しました

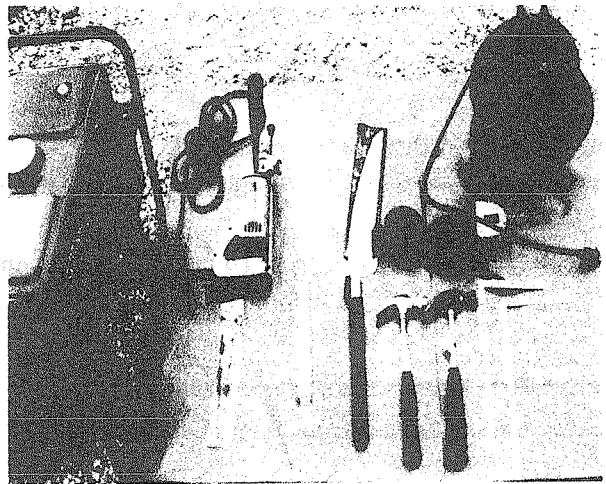
前号でお知らせしました助成金で各種  
道具(発電機、電動ドリル、墨壺、差し  
金等々)を購入しました。いずれも森の  
作業に必要なものばかりです。

助成金抛出主体は「セブン・イレブン  
みどりの基金」です。担当の羽田さん  
(専従の女性職員)は、何度も名古屋に  
足を運んでくれて積極的に応援してくれ  
ています。ますますの水トラスト運動の

2001年11月10日	間伐材を使った小屋作り
12月8日	〃
2002年1月12日	〃
2月9日	〃
3月9~10日	中山間地生活体験(炭焼き)

◆事務局スタッフ募集中！

発展を目指していきたいと考えています。  
水トラストでは、NPO法人格を取得  
して助成金を得られる機会も増えてきま  
した。こうした助成金や会員のみなさま  
から寄せられた会費・寄付金をさらに有  
効に運動に活用するために、事務局のスタ  
ッフを募集しています。この「水トラ  
ストニュース」の発行や会費・寄付金の  
管理、各種学習会内容の発案、シンポジ  
ウム開催に向けた諸準備と運営など水ト



ラストが事業計画に  
掲げている事業を具  
体化させる作業にた  
ずさわってください  
方を募集しています。  
興味のある方はぜひ  
ご連絡ください。よ  
ろしくお願します。

8月の予定が、段取の悪さと人をTV画面に釘付けにしてしま  
う大事件のせい(?)で10月発行に……お許しを!

「テロも戦争も憎しみを増幅するだけで何の解決にもならない」  
と訴える人がいます。私もまったく同感です。テロ犠牲者の死を悼  
みつつ、文明の違いを超えて、同じ「地球人」として、危機に瀕す  
る環境と人権を快復していくための話し合いこそが回り道の様にみ  
えて問題解決の近道ではないでしょうか。

テロと無関係の民衆が殺されないことを心から願って… (K)

特定非営利法人NPO

みただけ・500万人の木曽川水トラスト  
〒456-0034

名古屋市熱田区伝馬2-28-14 名古屋働く人の家 気付

TEL&FAX 052-682-4737

郵便振替 00800-9-64810

**MITAKE**  
**Wishing Well**  
**Trust**